

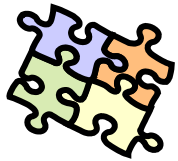
はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2011年3月1日発行

いよいよ「はもりあ週間」が始まりました。今年は、1日(火)～12日(土)まで行います！

映画やワークショップ、登録グループの活動展示、チャレンジショップ、そして広岡守穂さんの講演会など盛りだくさんです。市民グループの皆さんたちと頑張って準備しました！ぜひ来てください！！



“男女共同参画人材リスト登録者研修会”を開催しました！！

【四日市市の審議会等委員の現状】

現在、四日市市の審議会等における女性委員比率は31.5%です。四日市市は、平成26年度末目標として審議会等委員の比率を男女ともに40%以上を目指すとして設定し、その目標達成のための方法の一つとして、男女共同参画人材リストを整備しています。先月26日に、三重大学男女共同参画コーディネーター 客員教授の鈴山雅子先生をお招きし、男女共同参画人材リストにご登録の皆さんを対象に、女性参画の社会的意義や女性が活躍するために何が 필요한のかを学ぶ研修会を実施しました。

【オンリーワンより1割、1割より3割】

研修会の中で、鈴山先生から、平成21年度に発刊した「三重の女性史」から明治・大正・昭和を生きた三重の女性と、男女共同参画を考える上でかわりの深い外国人女性をご紹介いただきました。

その中の一人がロザベス・モス・カンターさん。この方は、少数派でも構成割合の30%を占めると意思決定に影響力を持つという「カンター理論」「黄金の3割」などを提唱された方です。この3割という考え方が、国の2020年までにあらゆる場面で女性を30%参画させるという「^{にいまるにいまるさんまる}202030」の元になっています。審議会委員一人ひとりの思い、意見は違って当たり前なのに、女性委員が一人しかいないと、「女性代表」の意見として取り扱われがちです。女性委員0人より1人のほうがよいですが、1人より1割、そして1割より3割です。「黄金の3割」は、「女性代表の意見」としてではなく、個人の意見として扱われる分岐点となります。

【審議会に臨むとき、心がけるべきこと】

審議会に出席する姿勢として、「勉強にきました」「何もわかりませんが」というスタンスではなく、出席するからには、きちんと意見を述べて参画すべきであり、事前に送られてくる資料はよく読んで、自分の立場だけで意見を言うのではなく、グローバルな視点で普遍的な意見を言えるようにすることが大事だとお話がありました。

参加者から、参画している審議会の構成メンバーは男女50%ずつだが、発言は圧倒的に男性が多い。市の政策は幅が広くて、すべての分野を網羅することは難しいとのご意見がありました。鈴山先生から、「この審議会のこの回は、どの分野の何をどうしたいのか(決めたいのか)」という質問を事務局に投げかけ、委員会の運営方法を問うことも大事だとの意見をいただきました。

また、先日の市議会を傍聴した参加者から、「ある議員が“男女共同参画行政を後退させないでください”と言ったら、市長が“絶対に後退させません”と言ってくれた。しっかり見守っていきたいと思う。」との発言もありました。男女共同参画社会の実現を目指し、ともに力を合わせて推進していきましょう。



熱弁をふるわれる鈴山先生

パパと一緒に パンを焼いてみませんか？



いつもはお店で買うパンを、父子で焼いてみませんか？
ハムロールとメロンパンを作ります。スープとサラダもついてます！
一緒に作る焼きたてのパンはきっとおいしいですよ！



- 【日時】 3月26日(土) 10:00～13:00
【場所】 はもりあ四日市 調理室(本町プラザ3階)
【対象】 男性と小学生のペア
【参加費】 1組 500円 【定員】 12組 (応募多数の場合は抽選)
【申込み】 往復はがきに、参加する大人と子どもの名前(ふりがな)・学年・連絡先の住所・電話番号・
託児が必要な場合は預ける子の名前と年齢を書いて、3月15日(火)までに
「〒510-0093 本町9-8 はもりあ四日市」へ申し込んでください。
【お問合せ】 はもりあ四日市(Tel 354-8331 FAX 354-8339)



パープルダイヤル(24時間対応)

- 性暴力・DV相談電話 -

0120-941-826

無料で受け付けています。



【性暴力・DV被害者の現状】

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、殴る、蹴るだけではありません。生活費を渡さない、交友関係や電話・メールを監視する、セックスを強要する、避妊に協力しない、これらもすべてDVです。

平成21年度の配偶者暴力相談支援センターにおける配偶者からの暴力に関する相談件数は7万件を超え、被害はとても深刻です。また、平成21年内閣府が実施した「男女間における暴力に関する調査」によると、性暴力の被害経験がある女性は7.3%、そのうちどこ(だれ)にも相談しなかった人は62.6%にのぼっています。

【性暴力やDVからあなたを守ります】

前述の調査でも、男女間の暴力を防止するために必要なこととして相談窓口を増やすべきとの意見が多くありました。これらから、相談窓口をより多くの人に周知し、どこにも相談せずに苦しむ被害者を減らすことを目的として、24時間対応の無料電話相談が集中的に実施されることになりました。

「自分の受けている行為が暴力なのかわからない」「身近に被害者がいる」等々、被害者本人から、そして家族・友人等を対象として相談を受け付けます。

被害を受けたあなたに責任はありません。一人で悩まず、どんな相談でもいいので、声を聞かせてください。

受付期間：平成23年3月27日(日)22:00まで

世界の国の男女共同参画



シンガポール編

今回は、一人当たりのGDP（国内総生産）がアジア 1 位であるシンガポールの、雇用分野への女性の参画に関する取組を紹介します。

【労働力不足が深刻な問題】

シンガポールの労働人口の約 3 割は、外国人労働者です。シンガポール国籍や永住権を持つ人々では、労働力を維持できないのが現状です。政府は、足りない労働力を補うため、就労していない女性の労働参加を支援するための施策に取り組んでいます。そのなかの一つがワーク・ライフ・バランスの推進です。

【企業への補助金 Wow!】

政府は、国民が仕事と家庭生活のバランスを取り、両立を図っていくことが重要であるとの考えのもと、2004 年 8 月、約 6 億 5000 万円規模の「Work-Life Works! (WOW!) 基金」が創設されました。同基金は、家庭に優しい職場環境の整備プロジェクトを企業等が実施した場合に補助金を支出するものです。仕事と家庭を両立できる職場環境整備のための研修実施費用、託児所整備費用や、在宅勤務を可能にするためのコンピューターネットワークシステムの構築費用などがその対象となります。

【女性の労働市場への参加をめざして】

政府だけでなく、全国労働組合評議会もさまざまな取組を行っています。

女性の再就職を応援するため、求職フェアを開催し、履歴書の書き方からサービス業向けの顧客サービストレーニングまで無料で提供しています。また、シンガポールは、仕事はフルタイムという慣習が強く、パートタイムやフレックスワークは、ごく一部にしかありません。これが女性の職場復帰を妨げているとの考えから、フレックス制度で採用した企業に対し、補助金を出す制度も創設しています。

今月のおすすめ本

もうすぐ春休み。今月は、2 冊絵本を紹介します。この 2 冊は、「はもりあ」で貸出できます。



カミナリこぞうがふってきた

雨やどりをしよう一本杉の下にかけこんだタケシ。すると、**ドーン!!** とカミナリが、そしてカミナリこぞうが落ちてきた!! タケシは、カミナリこぞうを家にかえすために大奮闘。そしてついに空の上へとやってきた。見たことのない空の上の世界で、タケシは……。タケシの驚きが伝わる絵本です。



さかな 1 ぴき なまのまま

主人公はネコ。ネコの家族は人間のおばあさん。ある日、ネコはともだちを探しにでかけます。途中で知りあったのはヘビ。ネコはちゃんとしたともだちを探すためにあせりぎみ。一方、ヘビはとってもマイペース。このヘビは自分が探しているともだちではない、この先にきっとほんのともだちがいるんだ、と思うネコの気持ちが、だんだん変わって来るところがほのぼのします。ネコのピンチを救ってくれるヘビもとっても素敵です。



今月のキーワード

ウーマノミクス

「ウーマノミクス」とは、1999 年に提唱された概念で、「ウーマン」と「エコノミクス」を組み合わせた造語です。

現在の日本は、団塊の世代が大量退職や少子高齢社会の到来により、労働力の減少が懸念されています。この労働力を補うために、出生率の引き上げや、外国人労働者の受け入れなどが言われていますが、同時に注目したいのが「**女性労働力の活用**」です。日本は、就職後、結婚や出産を理由に離職する女性が非常に多い国です。この女性たちが働き続けられるようになれば、減少する労働力を補えます。女性の就労拡大は、今までの雇用の枠を奪っていくことではありません。女性が働き続けるために保育や宅配などさまざまなサービスの場で、新しい雇用が生まれていきます。また、生活者の視点で商品開発を行ったり、就労により得た収入で消費や投資の担い手となったりすることで、女性は、日本の経済を活性化させる可能性を持つ存在といえます。



登録グループイベント情報

3月毎水曜日 『玉響の会』

たまゆら

4B～6Bの鉛筆で文字を美しく書いてみませんか？

時 10:00～12:00 所 はもりあ四日市 企画室 費 月額1,500円

問 玉響の会 井上 (TEL/FAX345-8752)

3月19日(土) 『つみき』

子育てには自然に囲まれた環境が必要です。木で遊ぶ機会を定期的に作り、多くの皆さまに木とふれあう環境を体験していただいています。木と人とのふれあいで子どもが育つ環境をつくりませんか。当日自由参加、出入り自由ですが事前予約も受け付けます。

時 13:30～16:00 所 はもりあ四日市 こどものへや 費 無料 対 小学生以下の親子

問・申 NPO 幸せな家庭環境つくる会 中村 (TEL345-7726)

3月25日(金) 『すくすくの会』～乳幼児をもつお母さんの集まり～

毎日子どもに振り回され、お母さんはてんてこまい...悩んだり、落ち込んだり。今この乳幼児期に、本当に大事にしたいこととは何でしょう。私たちと一緒に考えてみませんか？

時 10:00～12:00 費 おとな250円・こども50円/人 所 四日市友の家 2階

問・申 四日市友の会 篠原 (TEL/FAX326-2081)

登録グループ紹介

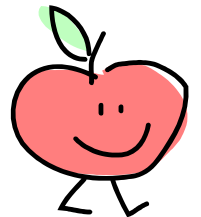
はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介します。今回は“にっこりんご”さんです。

にっこりんご

代表 石川 小巻 会員数 30名
連絡先 090-2924-1841

ありがとうございます！子育て&自分育てクラブ にっこりんごです

にっこりんごでは、笑顔セラピストが『笑顔』と『ありがとう』の言葉の素晴らしさをお伝えしております。パパママ応援イベントの開催、講演会の開催、親子で楽しめるハーブのミニコンサートなどを実施しています。講演会では、全国でご活躍の有名講師をお迎えしています。1人でも多くの方へ幸せのお手伝いができれば、と思って活動しています



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>